

Ｈ２２年度秋田大学研究者海外派遣事業により 実施した研究・教育活動の成果報告について

平成２４年１２月１４日

所属・職名： 国際資源学教育研究センター・准教授
氏 名： 高崎康志

派遣先機関名： モンタナテック （国名：アメリカ）

派遣期間： 平成 22 年 6 月 9 日～平成 22 年 9 月 17 日

研究課題・目的： 難溶性複雑酸化物残渣からの有価金属の回収
(ならびにエナージャイト(Cu_3AsS_4)の電位-pH 図の作成実験)

□研究成果（列記願います）

・論文

なし

・学会発表

“Spectroelectrochemistry of Enargite I: Reactivity in Alkaline Solutions” R. Gow, G. Young, G. Hope and Y. Takasaki; 2013 SME Annual Meeting & Exhibit and CMA 115th National Western Mining Conference (Feb. 24-27, 2013, Colorado Convention Center 700 14th St. Denver, CO 80202) (共同研究者が発表予定)

・その他

□教育活動等（列記願います）

現地にて撮影した鉱山等の動画や写真などを講義の資料として利用している。

□海外派遣事業中の教育・研究活動が、帰国後の研究等の活動にどのように反映されたか
概括ください。

研究分野では、基本的な電位-電流測定を行えただけでなく、熱力学計算ソフト STABCAL の操作方法の習得、鉱物を自動的に判定する MLA による分析など、帰国後の研究活動に大いに役立っている。

交流面ではモンタナテックとの協力関係を深めることができ、教員の招聘等帰国後の交流が活発になった。具体的には、平成 23 年度に Courtney 教授を国際資源学教育研究センターの講師として招聘した。さらに Courtney 教授にはリーディング大学院の外国人講師をお引き受けいただいている。また、平成 24 年度のリーディング大学院講師として Huang 教

授を1月か2月に招聘予定である。さらに、国際資源学教育研究センター主催の国際シンポジウムにコロラドスクールオブマイنزのCorby教授を招聘する。Corby教授は過去にモンタナテックに在籍しており、モンタナテックに来られた際（試金法のショートコース）にお世話になった。